

ねん がつ にちかいさい  
R4年7月30日開催

「オンラインによる夜の昆虫観察会・夜の昆虫の世界をのぞいてみよう！」より



が てい おう  
蛾の帝王 (石川和宏氏) に聞いてみた！

しつもん  
質問コーナー

注) 質問の内容は原文のまま引用しています。

質問1 コガネムシは樹液以外に何をたべますか？

回答1 コガネムシの仲間が食べるものは、大きく3つに分けられます。一つ目は、種としてのコガネムシやカナブンなどが該当する葉っぱや樹液など植物質を食べるもの、二つ目はコカブトムシに代表される肉食性の動物質を食べるもの、三つめはセンチコガネやエンマコガネのような動物のフンや死体を食べるものです。

質問2 ドクガの毒は、テープなどで取ると言うことですが、洗い流せないのですか？

回答2 最初に刺さっている棘をテープで取り除くことによってそれ以上刺さることを防ぎます。水だけだと、かえって刺さることや抜けきらないこともあるので、まずはテープではがし切った後、洗うようにしてください。なお、洗う時もごしごしこすらないようにお願いします。

質問3 他にもネットに集まる危険な虫はいるのですか？

回答3 おそらくライトトラップに来るものということだと思いますが、毒があるもの以外に、カミキリムシやクワガタムシ、キリギリスの仲間などは、あごの力が強いので、咬まれると切れて血が出たりしますので注意してください。

質問4 カブトムシとクワガタのメスを見せていただきましたが、オスは集まりにくいのですか？

回答4 オスもメスと同じくらい光に集まります。ただし、人里など人為的な圧力が大きな場所では、オスの方が昆虫採集による人気が高く、とられてしまうことが多いことから、メスの方が残ることが多いです。

質問5 カマキリは夜にあつまらないのですか？

回答5 カマキリは、目が良く、動くものを見つけて捕まえます。そのため、暗くなって獲物が見えなくなる夜はあまり活動していません。ただし、ライトトラップの近くにいた場合は、その明るさで目が見えるため、集まってきた虫を食べにくることもあります。

質問6 カマキリを持つとき、どこを持ってばいいですか？

回答6 カマの部分<sup>かま</sup>が手<sup>て</sup>に当たらないように、前足<sup>まえあし</sup>のつけ根<sup>ね</sup>の部分<sup>ぶぶん</sup>を胸<sup>むね</sup>の両側<sup>りょうがわ</sup>から指<sup>ゆび</sup>で挟む<sup>はさ</sup>ようにして持ちます。



質問7 今年はせみが木の上の<sup>うへ</sup>高い<sup>たか</sup>ところにしかいない<sup>い</sup>気がします。木の下<sup>した</sup>にいないためなかなか採れ<sup>と</sup>ません。なぜでしょうか？

回答7 セミは、種類<sup>しゆるい</sup>によって好む<sup>この</sup>高さ<sup>たか</sup>が変わり<sup>か</sup>ます。アブラゼミやニイゼミは、割<sup>わり</sup>と木<sup>き</sup>の低い<sup>ひく</sup>ところにも止まり<sup>と</sup>ますが、ミンミンゼミやヒグラシなどは、木<sup>き</sup>の高い<sup>たか</sup>ところで鳴く<sup>な</sup>ことが多い<sup>おほ</sup>です。今年<sup>ことし</sup>は、セミの出る<sup>で</sup>時期<sup>じき</sup>が例年<sup>れいねん</sup>に比べておそ<sup>く</sup>かったと考<sup>かんが</sup>えられ、高い<sup>たか</sup>ところで鳴く<sup>な</sup>ミンミンゼミなどが目立<sup>めだ</sup>っていることが考<sup>かんが</sup>えられます。

質問8 かまきりは蛾<sup>が</sup>以外<sup>いがい</sup>に何<sup>なに</sup>をたべますか？

回答8 トンボやバッタ類<sup>るい</sup>、チョウなどを主<sup>おも</sup>な餌<sup>えき</sup>にしています。

質問9 カナブンとコガネムシの違いは何ですか

回答9 カナブンの仲間は、頭部が四角い形をしています。その他のコガネムシの仲間は頭部が比較的丸い形をしていることが多いです。また、成虫が主に樹液に集まるのもカナブンの特徴です。



カナブン



アオドウガネ

質問10 オオカマキリはなんで、オオカマキリなんですか

回答10 基本的には、大きさに名前が付けられました。最初にカマキリ（チョウセンカマキリ、体長オス 65～80mm、メス 70～90mm）と名付けられた種を基本として、それより大きなものがオオカマキリ（体長オス 68～92mm、メス 77～105mm）、小さなものがコカマキリ（体長45～60mm）と名付けられています。さらに、コカマキリよりもさらに小さなものがヒメカマキリ（体長25～35mm）、それよりもさらに小さな種にヒナカマキリ（体長15mm）と名付けられています。



オオカマキリ



コカマキリ

質問11 コクワガタ、ヒラタクワガタを見つけやすい環境、好む木はありますか

回答11 クワガタムシは、朽木の中で幼虫が育ちますが、その期間は数年と長いので、クワガタムシがすめる環境は、そのような朽木が数年にわたって転がっているような雑木林になります。なお、成虫は羽が生えて少しは移動できるため、クヌギやコナラのほか、河川敷にあるヤナギの仲間や庭木として植えられているシマトネリコなどの樹液にも集まります。



コクワガタ



ヒラタクワガタ

質問12 なぜタマムシは羽根がキラキラしているのですか？

回答12 タマムシの羽根は、色素などの化学物質による着色ではなく、「構造色」と呼ばれる光の反射や屈折によって現れた色です。例えば、空気中の水蒸気に太陽の光が当たって虹ができる現象と同じようなものです。そのため、羽根が壊れない限り永久にこの色は残りますが、羽根を金づちでたたかなどして光の反射や屈折ができなくなるとこの色はなくなってしまいます。また、なぜこのようなキラキラになったかという理由については、まだ詳しいことはよくわかっていませんが、仲間同士を区別するためという説や、キラキラすることで鳥などの敵に対する目くらましに役立っているといった説があります。



ヤマトタマムシ

質問13 なぜコガネムシは、からだがまるいのですか？

回答13 詳しいことはわかっていませんが、丸いことで敵につかまりにくかったり、狭いところに入りやすかったりといったことが考えられます。ちなみにコガネムシの仲間でもカブトムシのように角があったり、ごつごつした体つきをしているものもあり、そのようなものは、割と敵に対して立ち向かったりする傾向があるようです。

質問14 誰が虫に名前を付けているんですか？

回答14 多くの虫は、論文で新種を記載するとき名前（学名：世界共通のラテン語名）を付けることになります。なお、日本語の名前である和名については、昔から知られているもので昔ながらの名前がついているものは、その形や生態からついたものもあるようです。

質問15 都立神代植物公園植物多様性センターにオオミズアオの繭がありました。オオミズアオがよく来る時間帯は何時ごろですか？

回答15 個体によって、差はありますが、一般的には日付が変わる深夜から明け方までといわれています。



オオミズアオ

質問16 蛾の帝王は大学でどんな勉強をされたのですか

回答16 実は私は水産の出身で、大学時代は瀬戸内海に住んでいる小型のエビの一種であるサルエビというエビの幼生の記載などの研究をしていました。なお、勉強ではありませんが、夏休みなどを利用して、日本各地の山や海に出かけては、いろいろな生き物を見て、写真に撮ったり採集したりして、名前を調べて楽しんでいました。

質問17 かんたんならいととらつぶのつくりかたおしえて

回答17 電池式のランタンや蛍光灯式のような電灯を用意して、白いシーツのようなものを壁や木の間に張り、その前につるだけで、何かの虫はやってきます。壁があればシーツ無しでも結構いけます。また、白いビニール傘を開いて逆さにして枝につるし、その上にランタンをつけるだけでもいろいろな虫が傘の上に着てきます。

——以上です。たくさんのご質問, ありがとうございました！